テクマトリックスTestRailクラウドサービス セキュリティチェックシート（Ver. 202607）

本書はテクマトリックスTestRailクラウドサービスにおけるサービスの概要やセキュリティ施策について記載したものです。

本サービスは、ASPIC ASP・SaaS 情報開示認定制度の認定を受けています。（認定番号：0251-2108）
情報開示認定制度は、総務省等が定めた各種ガイドライン、情報開示指針をもとに、ASP・SaaS等、
クラウドサービスの活用を考えている企業や地方公共団体などが、事業者やサービスを比較、評価、選択する際に
必要な安全・信頼性に係る情報を適切に開示し、かつ一定の要件を満たすサービスを第3者が認定するものです。

テクマトリックス株式会社の企業情報については、コーポレートサイト（ https://www.techmatrix.co.jp/company/profile.html ）をご参照ください。

	大項目		項目	実施内容
サービス基本特性				
1	サービス内容	サービス名称	SaaSのサービス名称	テクマトリックス TestRail クラウドサービス
2		サービス開始時期	SaaSのサービス開始年月日（西暦）	2021年4月21日
3			サービス開始から申請時までの間の大きなリニューアル等実施の有無と、行われた場合はリニューアル年月日（西暦）	無し
4		サービスの基本タイプ	アプリケーションサービス、ネットワーク基盤サービス、ASP基盤サービス、その他サービスの4つ中から該当タイプを選択	アプリケーションサービス
5		サービスの内容・範囲	SaaSのサービスの内容・特徴	ソフトウェア開発における、テストケースやテスト結果の管理、進捗管理、サポート機能を提供するテスト管理ツール TestRailのクラウドホスティングサービスです。 TestRailはシンプルで使いやすいUIを提供し、テストにかかるさまざまな管理コストの削減やテストの生産性の向上に貢献します。また、外部の要件管理ツールや課題管理ツール、UIテスト自動化ツール等と連携し、効率的なテスト活動を支援します。
6			他の事業者との間でサービス連携を行っていることの有無と、ある場合はその内容	無し
7		サービスのカスタマイズ範囲	アプリケーションのカスタマイズの範囲	利用者による特定の画面表示の変更やテストケースおよびテスト結果の管理項目追加、テストケーステンプレートの作成および利用、任意の外部ツールとの連携機能を提供します。
8	サービスの変更・終了	サービス（事業）変更・終了時の事前告知	利用者への告知時期（事前の告知時期を1ヶ月前、3ヶ月前、6ヶ月前、12ヶ月前等の単位で記述）	60日前
9			告知方法	ユーザー登録者宛に電子メールにて通知する。
10		サービス（事業）変更・終了後の対応・代替措置	対応・代替措置の基本方針の有無と、基本方針がある場合はその概略	無し
11			基本方針に沿った具体的なユーザへの対応策（代替サービスの紹介等）の有無と、対応策がある場合はその概略	無し
12			契約終了時の情報資産（ユーザデータ等）の返却責任の有無	無し ※契約終了日から30日以内に、バックアップも含めデータを削除する。
13		サービス（事業）変更・終了に係る問合せ先	問合せ先（通常の苦情等の問合せ窓口も含む）の有無と、問合せ先がある場合は名称・受付時間	有り 名称：カスタマーサポート 問い合わせへの応答時間帯：平日 9時～12時、13時～17時30分
14	サービス料金	課金方法	従量部分の課金方法	契約ユーザー数と利用オプションに応じた月額利用料
15			固定部分の課金方法	無し
16		料金体系	初期費用額	無し

大項目			項目	実施内容
17			月額利用額	下記リンク先よりお問い合わせください。 https://www.techmatrix.co.jp/product/testrail/price.html
18			最低利用契約期間	1年間
19		解約時ペナルティ	解約時違約金(ユーザ側)の有無と、違約金がある場合はその額	無し
20		利用者からの解約事前受付期限	利用者からのサービス解約の受付期限の有無と、有りの場合はその期限(何日・何ヶ月前かを記述)	有り 90日前
21	サービス品質	サービス稼働設定値	サービス稼働率のこれまでの実績値、また目標値	[目標値] 99.61% ※計画メンテナンスを除く。 [過去実績] 2025年度稼働実績:99.99% 2024年度稼働実績:100% 2023年度稼働実績:99.99% 2022年度稼働実績:99.98% 2021年度稼働実績:99.73%
22		サービスパフォーマンスの管理	機器、ソフトウェア等のシステム障害によるサービス応答速度の低下等の検知方法 (検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法)	負荷分散装置のモニタリングにより、応答速度を1分間隔でグラフ化し監視している。
23			サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法 (検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法)	負荷分散装置のモニタリングにより、応答速度を1分間隔でグラフ化し監視している。
24		サービスパフォーマンスの増強	ネットワーク・機器等の増強判断基準あるいは計画の有無、判断基準や計画がある場合は増強の技術的措置(負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等)の概要	有り 応答時間超過、および機器のリソース逼迫(CPU、メモリ等の使用率増)の連続発生を基準に必要な資源増強対策を行う。
25		認証取得・監査実施	プライバシーマーク、ISMS(JIS Q 27001など)、ITSMS(JIS Q 20000-1など)の取得、18号監査(米ではSAS70)の監査報告書作成の有無、上記がある場合は認証名あるいは監査の名称	ISO/IEC 27001:2022(JIS Q 27001:2023) 登録証番号:JQA-IM2102 有効期限:2027/11/28
26		個人情報の取扱い	個人情報を収集する際の利用目的の明示	明示
27		脆弱性診断	診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)	アプリケーションサーバー
28			診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに)	常時
29		バックアップ対策	バックアップ実施インターバル	1日1回
30			世代バックアップ(何世代前までかを記述)	14世代
31		バックアップ管理	バックアップ確認のインターバル	1日 ※バックアップ処理のログを確認し、エラーがないことを確認している。
32		SLA (サービスレベル・アグリーメント)	本審査基準に含まれる開示項目がSLAとして契約書に添付されるか否か	有り
33	サービス利用量	利用者数	申請したASP・SaaSのサービスの利用者ライセンス数 (同時接続ユーザ数か、実ユーザ数かも明示)	非公開
34		代理店数	SaaSのサービスの取扱い代理店数	無し
アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等				
35	内容	サービスを実現する主要ソフトウェア	主要ソフトウェアの名称	TestRail

	大項目		項目	実施内容
36			主要ソフトウェアの概要	ソフトウェア開発における、テストケースやテスト結果の管理、進捗管理、サポート機能を利用できるテスト管理ツールです。TestRailはシンプルで使いやすいUIを提供し、テストにかかるさまざまな管理コストの削減やテストの生産性の向上に貢献します。また、外部の要件管理ツールや課題管理ツール、UIテスト自動化ツール等と連携し、効率的なテスト活動を支援します。
37		主要ソフトウェアの提供事業者	提供事業者の名称	Gurock Software GmbH, テクマトリックス
38	連携・拡張性	他システム等との連携方法	標準的なAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の名称	TestRail API（REST API）
39			標準的でないAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の公表の可否	無し
40	セキュリティ	死活監視（ソフトウェア、機器）	死活監視の対象（アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ、情報セキュリティ対策機器、通信機器）ごとの監視インターバル	負荷分散装置を用いて、30秒おきにアプリケーションサーバーに対してHTTPヘルスチェックを実施している。
41			障害時の利用者への通知時間	サポート営業時間（9時～12時、13時～17時30分）においては原則3時間以内に通知する。
42		障害監視（ソフトウェア、機器）	障害監視の有無	有り
43		脆弱性診断（ソフトウェア）	ソフトウェア（アプリケーション）自体に関する第三者の評価	Gurock Software側で年1回、第3者による脆弱性診断を実施している。
44		時刻同期	システムの時刻同期方法	Amazon Time Sync Service
45		ウイルスチェック	メール、ダウンロードファイル、サーバ上のファイルアクセスに対する対処の有無と、対処がある場合はパターンファイルの更新間隔（ベンダーリリースからの時間）	有り 24時間以内
46		記録（ログ等）	利用者の利用状況、例外処理及びセキュリティ事象の記録（ログ等）取得の有無と、記録（ログ等）がある場合にはその保存期間	有り 最大365日間保存している。
47		セキュリティパッチ管理	パッチの更新間隔（ベンダーリリースからパッチ更新開始までの時間）	サーバOSやアプリケーションのセキュリティパッチは月次計画停止日に適用する。 ※ただし緊急性の高いものは随時適用する。
ネットワーク				
48	回線	推奨回線	専用線（VPNを含む）、インターネット等の回線の種類	インターネット回線
49			ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲	ユーザー接続回線は責任の範囲外
50		推奨帯域	推奨帯域の有無と、推奨帯域がある場合はそのデータ通信速度の範囲	無し
51		推奨端末	パソコン、携帯電話等の端末の種類、OS等	無し ※推奨するブラウザが稼動するOS
52			利用するブラウザの種類	・Microsoft Edge ・Firefox ・Chrome ・Safari ・Webkit ※いずれも最新のバージョン [参照] https://www.techmatrix.co.jp/product/testrail/requirement.html
53	セキュリティ	ファイアウォール設置等	ファイアウォール設置等の不正アクセスを防止する措置の有無	有り
54		不正侵入検知	不正パケット、非権限者による不正なサーバ侵入に対する検知の有無	有り
55		ネットワーク監視	事業者とエンドユーザとの間のネットワーク（専用線等）において障害が発生した際の通報時間	事業者とエンドユーザとの間のネットワークは、責任の範囲外

大項目			項目	実施内容
56		ID・パスワードの運用管理	IDやパスワードの運用管理方法の規程の有無	有り
57		ユーザ認証	ユーザ(利用者)のアクセスを管理するための認証方法、特定の場所及び装置からの接続を認証する方法等	[認証] ・ID//パスワード ・多要素認証 ・SSO ※Enterprise版のみ [アクセス制限] ・接続元IPアドレスによるアクセス制限
58		管理者認証	サーバ運用側(サービス提供側)の管理者権限の登録・登録削除の正式な手順の有無	有り
59		なりすまし対策(事業者サイド)	第三者による自社を装ったなりすましに関する対策の実施の有無と、対策がある場合は認証の方法	有り ・認証局が発行するSSL/TLSサーバー証明書を取得、使用 ・DMARCへの準拠
60		その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(情報漏洩対策、データの暗号化等)	・SSL/TLS通信の強制 ・データ保管時の暗号化
ハウジング(サーバ設置場所)				
61	施設建築物	建物形態	データセンター専用建物か否か	データセンター専用建物
62		所在地	国名、(日本の場合は地域ブロック名(例:関東、東北)	日本(関東、関西)
63		耐震・免震構造	耐震数値	Amazon Web Serviceを利用しており、当該項目情報は非公開なため内容を特定することが出来ません。
			免震構造や制震構造の有無	Amazon Web Serviceを利用しており、当該項目情報は非公開なため内容を特定することが出来ません。
64	非常用電源設備	無停電電源	無停電電源装置(UPS)の有無と、UPSがある場合は電力供給時間	Amazon Web Serviceを利用しており、当該項目情報は非公開なため内容を特定することが出来ません。
65		給電ルート	別の変電所を経由した給電ルート(系統)で2ルート以上が確保されているか否か(自家発電機、UPSを除く)	Amazon Web Serviceを利用しており、当該項目情報は非公開なため内容を特定することが出来ません。
66		非常用電源	非常用電源(自家発電機)の有無と、非常用電源がある場合は連続稼働時間の数値	Amazon Web Serviceを利用しており、当該項目情報は非公開なため内容を特定することが出来ません。
67	消火設備	サーバルーム内消火設備	自動消火設備の有無と、ある場合はガス系消火設備か否か	Amazon Web Serviceを利用しており、当該項目情報は非公開なため内容を特定することが出来ません。
68		火災感知・報知システム	火災検知システムの有無	Amazon Web Serviceを利用しており、当該項目情報は非公開なため内容を特定することが出来ません。
69	避雷対策設備	直撃雷対策	直撃雷対策の有無	Amazon Web Serviceを利用しており、当該項目情報は非公開なため内容を特定することが出来ません。
70		誘導雷対策	誘導雷対策の有無と、対策がある場合は最大対応電圧の数値	Amazon Web Serviceを利用しており、当該項目情報は非公開なため内容を特定することが出来ません。
71	空調設備	十分な空調設備	空調設備(床吹き上げ空調、コンピュータ専用個別空調等)の内容	Amazon Web Serviceを利用しており、当該項目情報は非公開なため内容を特定することが出来ません。
72	セキュリティ	入退館管理等	入退室記録の有無と、入退室記録がある場合はその保存期間	Amazon Web Serviceを利用しており、当該項目情報は非公開なため内容を特定することが出来ません。
			監視カメラの有無と、カメラがある場合は監視カメラ稼働時間、監視カメラの監視範囲、映像の保存期間	Amazon Web Serviceを利用しており、当該項目情報は非公開なため内容を特定することが出来ません。
			個人認証システムの有無	Amazon Web Serviceを利用しており、当該項目情報は非公開なため内容を特定することが出来ません。
73		媒体の保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	Amazon Web Serviceを利用しており、当該項目情報は非公開なため内容を特定することが出来ません。
			保管管理手順書の有無	Amazon Web Serviceを利用しており、当該項目情報は非公開なため内容を特定することが出来ません。
74		その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)	Amazon Web Serviceを利用しており、当該項目情報は非公開なため内容を特定することが出来ません。

	大項目		項目	実施内容
サービスサポート				
75	サービス窓口 （苦情受付）	連絡先	申請者の電話／FAX、Web、電子メール等の連絡先	電子メール：testrail_support@techmatrix.co.jp 電話：03-4405-7853
76			代理店連絡先の有無と、ある場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先	無し
77		営業日・時間	営業曜日、営業時間（受付時間）	平日 9時～12時、13時～17時30分 休業日：土日祝日および、12月29日～1月3日
78			メンテナンス実施時間	毎月第3土曜日の 9時～12時に行います。 日程は変更される場合があります。
79		サポート範囲・手段	サポート範囲	・操作方法や各種設定方法 ・稼働環境変更に伴うクラウドサービスのシステム稼働の可否等に関する問い合わせ対応 ・アプリケーション（TestRail）の障害発生時における原因調査、回避策の提示
80			サポート手段（電話、電子メールの返信等）	電子メール
81	サービス保証・継続	サービスダウンしない仕組み	サービスが停止しない仕組み（冗長化、負荷分散等）	冗長化、負荷分散
82		事故発生時の責任と補償範囲	SaaS事業者の事故責任の範囲と補償範囲が記述された文書の有無、有る場合はその文書名称	有り テクマトリックスTestRailクラウドサービス利用規約
83	サービス通知・報告	メンテナンス等の一時的サービス停止時の事前告知	利用者への告知時期 （1ヵ月前、3ヵ月前、6ヵ月前、12ヵ月前等の単位で記述）	・定期メンテナンス実施日の1週間以上前に告知します。 ・緊急性の高いメンテナンスの場合は事後報告となる場合があります。
84			告知方法	ユーザー登録者宛に電子メールにて通知する。
85			記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無	有り
86		障害・災害発生時の通知	障害発生時通知の有無	有り ユーザー登録者宛に電子メールにて通知する。
87		定期報告	利用者への定期報告の有無 （アプリケーション、サーバ、プラットフォーム、その他機器の監視結果、サービス稼働率、SLAの実施結果等）	無し